

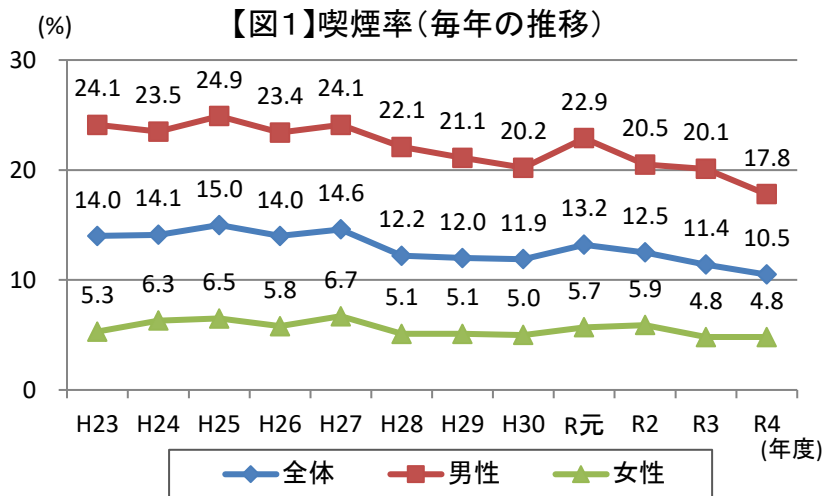
◆令和4年度なら健康長寿基礎調査

【調査概要】

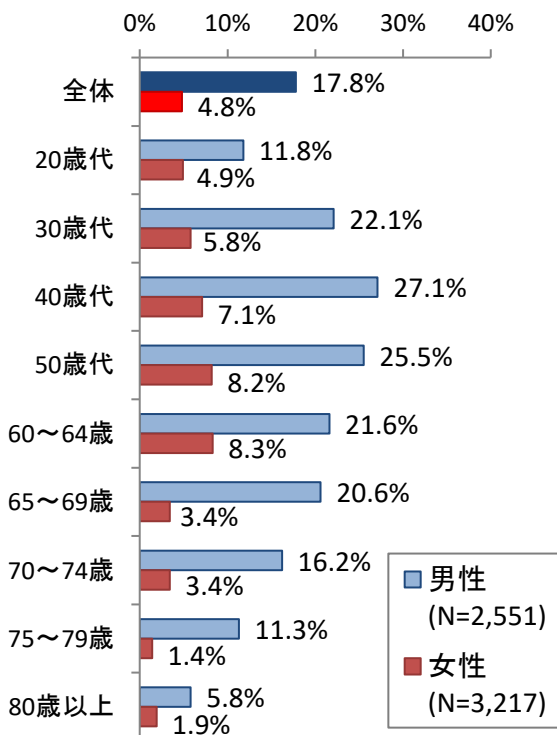
- 調査地域：県内全市町村
- 調査対象：令和4年7月1日現在で県内在住の20歳以上の方から無作為抽出した13,200人
標本抽出は、県内39市町村ごとの人口及び年齢構成に応じて設定したが、調査実施必要数に満たない町村は、人口配分より多く抽出している。
- 調査方法：郵送配付・郵送回収。無記名方式。調査期間中に礼状兼催促状を1回送付。
- 調査期間：令和4年10月20日～令和4年11月3日
- 調査項目：健康的な生活習慣の実施状況、医療と健診の受診状況、地域との関わりや地域活動の実践状況、回答者の属性

【調査回収状況】

- 配布件数13,200件
- 回収数 6,769件(回収率：51.3%) ○有効回答数 6,767件(有効回答率：51.3%)



【図2】たばこを「現在吸っている」人の割合



○喫煙率は、男性17.8%が減少、女性4.8%が横ばいである。

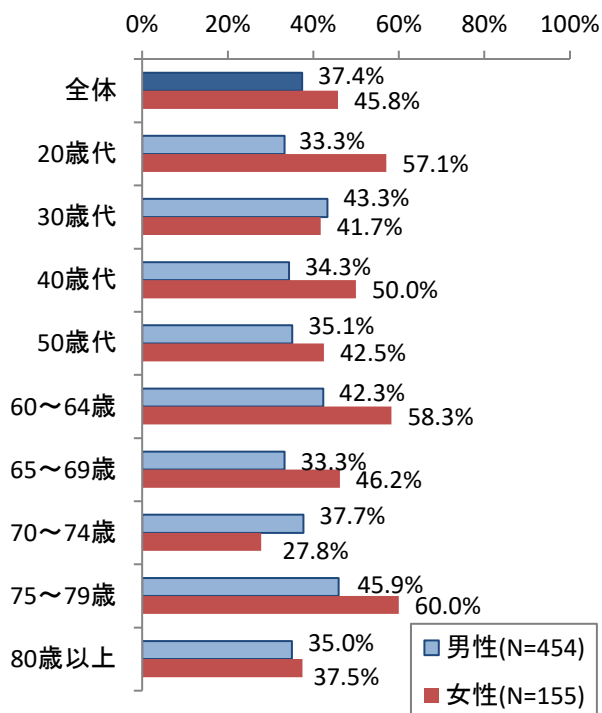
○喫煙している年代で最も多いのは、男性40歳代、女性60～64歳である。いずれの年代でも男性が女性より高い。男性は30代～60代、女性は20歳代～60代前半が高い割合である。

《なら健康長寿基本計画 目標値との比較》

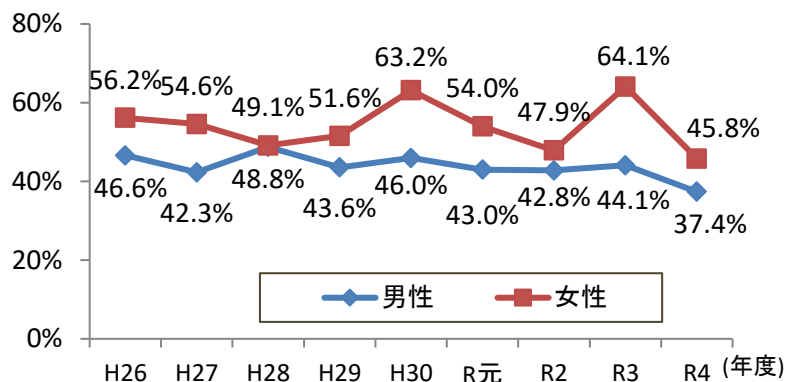
●成人の喫煙率

- 全体：10.5% < 目標値：9.9%
- 男性：17.8% < 目標値：18.0%
- 女性：4.8% < 目標値：2.8%

【図3】たばこを「やめたい」人の割合

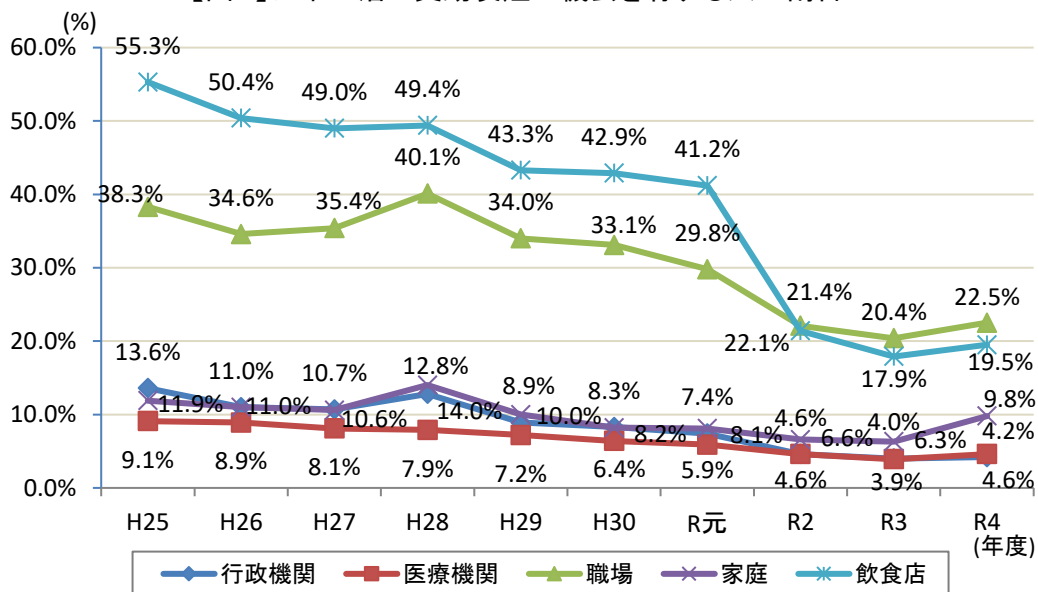


【図4】たばこを「やめたい」人の割合(毎年の推移)



○現在喫煙している人のうち、たばこを「やめたい」人は、男性が37.4%、女性が45.8%で女性が多い。30歳代・70～74歳を除く全ての年代で女性が男性に比べて高く、特に女性の75～79歳が60.0%で最も高い。

【図5】日常生活で受動喫煙の機会を有する人の割合



《なら健康長寿基本計画 目標値との比較》

●日常生活で受動喫煙の機会を有する人

- 行政機関…全体：4.2%〈目標値：0.0%〉
- 医療機関…全体：4.6%〈目標値：0.0%〉
- 職場…全体：22.5%〈目標値：12.4%〉
- 家庭…全体：9.8%〈目標値：2.6%〉
- 飲食店…全体：19.5%〈目標値：14.8%〉

※計算にあたり、現在喫煙者は除いている。